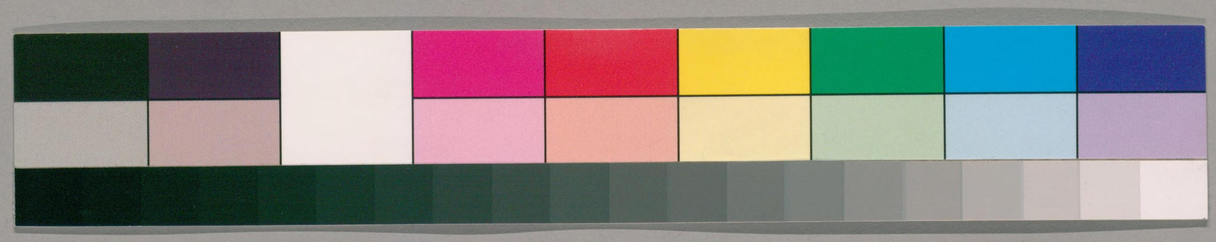

826
371
91

禁裏御所御用日記

三自三

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

近衛府

調子家傳

343

左近衛府生下毛野武道

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

下乞野武永

年　月　日　生

年　月　日　為左近衛番長

天正十七年七月十九日　叙従五位下

同　日　任主膳正

年　月　日　卒

武信 武永男

年　月　日　生

大正 6. 4. 13 購求

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

年　月　日　為左近衛番長
年　月　日　兼任玄蕃頭
慶長二年正月五日　叙従五位下
年　月　日　卒
武行　武信男
年　月　日　生
寛文二年十二月十四日　叙従六位下
同　日　任左近衛将曹

元禄元年七月十四日　死
武辰　武行男
寛文二年五月　日　生
貞享四年二月廿九日　叙従六位下　二十六歳
同　日　任左近衛府生
元禄十一年十二月廿七日　叙従六位上　三十七歳
同　日　轉任左近衛将曹
同　十四年十二月廿三日　遷任右近衛将監

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

享保十八年六月十八日　死七十二歳

武延武辰男

元祿九年三月　日　生

寶永七年後八月九日　叙從六位下十五歳

同　日　任右近衛府生

享保十六年十二月十四日　死三十六歳

武明武辰男

寶永三年五月一日　生

享保十八年二月十四日　叙從六位下二十八歳

同　日　任左近衛府生

同　十九年十二月九四日　轉任左近衛將曹

元文三年十二月九四日　兼任讃岐介

寛保四年正月十九日　死三十九歳

武音武明男　實泰武貞二男　元武邑

享保元年十一月十三日　生

寛延三年九月九四日　叙從六位下三十五歳

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

同　日　任右近衛府生

寶暦元年十二月六日　還任左近衛将曹

同　二年　三月　改名　武音

同　九年　五月二十日　勇任和泉守

同十一年四月九日　叙従六位上　四十六歳

明和五年九月十日　叙正六位下　五十二歳

同　七年九月十三日　補院御随身

同　年　十月一日　補青鈞院北面

同　八年　十月九日　轉任左近衛将監　守如元

安永三年　五月九日　止　北面

同四年　十月八日　辞院御随身

同　年　十一月七日　死　六十歳

武述　武音男

元文五年八月十六日　生

寶暦十一年三月十日　叙従六位下　二十二歳

同　日　為右近衛府生

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

同　十三年五月九四日
明和五年二月九二日
同　年　十二月十九日
安永五年六月十七日
寶暦二年十一月一日
安永七年八月九日
同　日

武

轉任右近衛將曹
補帶刀
叙従六位上　二十九歳
死　三十七歳
武美　武速養子
元武好、
生
叙従六位下　二十七歳
為左兵衛府生

天明元年四月九八日
同五年正月九六日
同　年　五月九一日
同　年十二月九六日
同七年二月九二日
寛政四年十二月十九日
同十一年十二月九二日
同

轉任左近衛將曹
叙従六位上　三十四歳
勇任和泉守
遷任加賀守
改名武美
叙三六位下　四十一歳
叙三六位上　四十八歳
轉任左近衛將監　守如元

文化四年四月 廿五日
同 八年 三月 四日
安永四年 十二月 十五日
寛政元年 十月 六日
同 日
同 八年 五月 廿八日

遷任伊勢介
死 六十歳
武里 武美男
生
叙従六位下 十五歳
為左近衛府生
辞官返上位記
武親 武美男

明和七年 十二月 廿八日
文化五年 後六月 廿六日
同 日
同 六年 九月 六日
同 十二年 十二月 十九日
文政十一年 正月 二十日
同 日
天保九年 十二月 廿二日

生
叙従六位下 三十九歳
為右近衛府生
補院御随身
叙従六位上 四十六歳
叙正六位下 五十九歳
遷任左近衛将曹
叙従五位下 六十九歳

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

同　日　遷任右近衛將監
弘化元年十二月廿二日　尊任伊賀守
同　二年五月六日　卒七十六歳
文化十年八月廿七日　武長武親男
天保六年十二月十八日　生
同　日　叙從六位下二十三歳
同　十三年二月二十日　為左近衛府生
叙從六位上三十歳

嘉永五年七月三日　叙正六位下四十歳
同　日　轉任左近衛將曹
同　七年十月廿四日　死四十二歳
弘化二年十一月十五日　武道武長男
嘉永五年七月二十日　生
同　日　叙從六位下八歳
為左近衛府生

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

近衛府

調子家傳

左近衛将監 兼下野守 下毛野武貫

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91

ガラス使用

年　月　日

年　月　日

年　月　日

年　月　日

下毛野敦行

任左近衛将監

重行　敦行男

為番長

公忠　重行男

任左近衛将監

公武　公忠男

為番長

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

年　月　日　任右近衛府生

年　月　日　轉任將監

敦季 公武男

年　月　日　任將曹

年　月　日　轉任將監

武忠 敦季男

年　月　日　為番長

武正 武忠男

年　月　日　為番長

年　月　日　任右近衛將曹

諸武 武正男

年　月　日　為番長

右近衛官人

左近衛官人

久武 諸武男

年　月　日　為左近衛番長

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

年
月
日
右近衛官人
左近衛官人
吉武 久武男
為右近衛番長
左近衛官人
祐武 吉武男
任左近衛将監
武良 祐武男

年
月
日
為番長
右近衛官人
左近衛官人
武次 武良男
左近衛官人
武音 武次男
為左近衛番長
任左近衛将監

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

應永元年十二月九日

兼任伯耆守

武遠 武音男

官位不知

武俊 武遠男

官位不知

武春 武俊男

官位不知

武經 武春男

官位不知

武吉 武經男

官位不知

武直 武吉男

生

任伯耆守

死

武俊 武直男

年　月　日

天正十三年十二月三十日

年　月　日

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

永禄七年　月　日　生

年　月　日　叙正六位上

天正十四年三月十六日　任九近衛将曹

同　年　十月十七日　叙従五位下　二十三歳

文禄五年四月九七日　兼任越前守

慶安元年十二月九七日　卒　八十五歳

天正元年　月　日　武通　武俊男

年　月　日　生

年　月　日　任九近衛府生

年　月　日　兼任式部丞

天正十七年五月六日　叙従五位下　十七歳

同　日　兼任筑後守

慶安三年十月九七日　卒　七十八歳

武政　武通男

年　月　日　生

年　月　日　任右近衛将曹

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

天正十七年七月十九日　叙従五位下

同　日　兼任玄蕃助

慶安三年十二月九三日　卒

武平　武政男

年　月　日　生

寛永九年九月十一日　任左近衛府生

明暦二年十一月十一日　死

武忠　武平男

寛永十三年九月七日　生

慶安四年二月十日　叙正六位上　十六歳

同　日　任左近衛将曹

寛文元年十二月九四日　叙従五位下　九六歳

年　月　日　兼任筑後守

延寶六年十二月十九日　轉任左近衛将監

天和元年十一月七日　卒　四十六歳

武有　武忠男

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

寛文五年八月一日
延寶三年二月九二日
同　日
同　六年十二月十九日
貞享二年十二月九八日
同　三年四月九六日
元禄十一年十二月九一日

生
叙従六位下十一歳
任右近衛府生
轉任右近衛将曹
兼任筑後守
叙従六位上廿三歳
死三十四歳
武貞武有男

延寶八年八月七日
元禄十二年三月十五日
同　日

生
叙従六位下二十歳
任右近衛府生
叙従六位上二十二歳
轉任右近衛将曹
兼任筑後守
同　十五年十二月九三日
寶永六年六月一日
同　七年三月九三日

退　敢依御事也
兼補東山院下北面

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

享保十四年十二月九三日
同十七年四月十日
享保元年十月四日
同十四年十二月九四日
同　日
同十七年十二月九七日
同十九年十二月九四日

叙正六位下五十歳
死五十三歳
武弘武貞男
生
叙従六位下十四歳
任右近衛府生
遷任左近衛将曹
叙従六位上十九歳

同　日
寛保元年十二月九一日
延享元年三月十日
同五年二月一日
寛延三年九月九八日
寶暦八年二月十日
同十二年三月九四日
安永元年十二月九日

兼任筑後守
叙正六位下九六歳
轉任左近衛将監
叙正六位上三十三歳
辞筑後守
兼任佐渡守
叙従五位下四十六歳
卒五十六歳

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

寛延二年八月十九日
寶暦六年三月九七日
同　日
同　十三年五月九四日
明和七年十月一日
同　九年正月九五日
同　年　三月九八日

武敬　武弘男
生
叙従六位下　八歳
任左近衛将曹
叙従六位上　十五歳
叙正六位下　九二歳
遷任右近衛将監
兼任筑後守

安永六年二月九日
天明七年二月九七日
文化十二年正月六日

天明三年三月十六日
寛政二年九月九五日
同　日
同　七年五月十九日

叙従五位下　九九歳
叙従五位上　三十九歳
卒　八十七歳
武禮　武敬男
生
叙従六位下　八歳
任右近衛将曹
補院御随身

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

同　九年　十月三十日
叙　従六位上　十五歳
文化元年　九月十八日
叙　正六位下　二十二歳
同　八年　十一月十九日
叙　正六位上　二十九歳
同　　日
遷任左近衛将監
同　年　十一月廿四日
還補本府
文政四年　八月二日
叙　従五位下　三十九歳
天保五年　十月廿七日
叙　従五位上　五十二歳
同　　日
兼任筑後守

同　十四年　十二月二日
卒　六十一歳
武貫　武禮男
文化四年　正月九日
生
同　十一年　七月二日
叙　従六位下　八歳
同　　日
任左近衛将曹
文政四年　八月廿六日
叙　従六位上　十五歳
同　十一年　四月廿七日
叙　正六位下　二十二歳
同　　日
轉任左近衛将監

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

天保九年三月廿一日　叙従五位下

同　年六月廿二日　兼任下野守

嘉永元年十二月十九日　叙従五位上四十二歳

武起　武貫男

天保二年十一月十三日　生

同　九年十二月三日　叙従六位下八歳

同　日　任左近衛将曹

弘化二年十二月十七日　叙従六位上十五歳

武寛　武起養子

天保五年四月七日　生

嘉永元年十月九日　叙従六位下十五歳

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

同　　日　任右近衛将曹

同　三年　六月十九日　辞官返上位記

武

天保五年　月　日　生

嘉永四年　三月　四日　叙従六位下十八歳

同　　日　任右近衛将曹

同　五年　七月二十日　兼任筑後介

同　六年　七月　八日　辞官返上位記

武

天保二年　二月六三日　生

嘉永七年　十一月十一日　叙従六位下六四歳

同　　日　任左近衛将曹

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

近衛府

調子家傳

左近衛將監秦武彦

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

慶長十八年四月朔日

同　二十年正月十一日

慶安四年二月十日

同　日

延宝五年四月三日

禁裏御所御用日記

寛文七年正月日
貞享元年十二月二十三日
元禄十年閏九月二十三日
元文元年七月二十日
正徳三年三月五日

生
叙従六位下 十八歳
任左近衛府生
叙従六位上 三十一歳
任左近衛将曹
死
武堅 武貞男
生

享保十五年六月二十六日
叙従六位下 十八歳
任右近衛府生
任右近衛将曹
叙従六位上 二十九歳
叙正六位下 三十九歳
叙正六位上 五十一歳
転任右近衛将監
死

寛保元年十二月二十四日
宝暦元年十二月二十一日
十三年十二月十九日
天明三年十月五日

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

延享二年十一月二十五日
明和七年六月三日
日日
安永三年八月二十七日
日六年十二月十九日
天明五年三月二日
日日

武重武堅男
生
叙従六位下二十六歳
任右近衛府生
補院御随身
叙従六位上二十三歳
叙正六位下四十歳
任左近衛将曹

寛政四年十二月十九日
日五年八月二十七日
文化五年七月九日

寛政十年二月十五日
日日
文化六年正月二十二日
日七年二月五日

叙正六位上四十八歳
轉任左近衛将監
死
武静武重男
叙従六位下二十歳
任右近衛府生
補院御随身
叙従六位上二十三歳

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

日日

文政十二年十月二十三日

寛政九年四月十四日

文政十一年正月二七日

日日

天保六年十月八日

日日

任左近衛将曹

死

武彦 武静男

生

叙従六位下 三十二歳

補右近衛府生

叙従六位上 三十九歳

任左近衛将曹

嘉永三年十二月十九日

日日

文政七年正月二十九日

天保十年二月二十九日

日日

叙正六位下 五十四歳

轉任左近衛将監

武照 武彦男

生

叙従六位下 十六歳

補右近衛府生

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

近衛府

富家傳

左近衛將曹下毛野 敦邦

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

崇神天皇皇子豐城入彦命後胤

下乞野敦實六世孫敦季三男

下乞野敦利

白河院御宇依召泰上生年十歳勅被騎賚御馬敦季武元櫳之

即時賜件御馬　院号之時於北面竹賜元服十二歳父与同

泰連後番長十六歳令遣御馬使廿六歳補官人正五位下鳥羽

院九將曹同九將監等任右衛門尉召次賜御庄知行御馬使三箇

度号御馬判官年預御鷹飼競馬上手七十三歳卒

敦忠　敦利嫡男

白河院侍初番長鳥羽院官人府將曹兩院御鷹飼補北面侍叙

正五位下勇任九馬權頭

敦方 敦忠男 実敦利三男

鳥羽院番長補官人補北面世称德人名誉御鷹飼従四位下伯耆守

敦澄 敦方男 實時成子

年 月 日 生

年 月 日 補九番長

年 月 日 死

敦経 敦澄男 實敦方嫡男

年 月 日 生

年 月 日 補番長

年 月 日 叙従五位下

年 月 日 任九近衛将曹

年 月 日 卒

朝武 敦経男 實敦方二男

御鷹飼大炊御門右府番長六波羅相国番長

年 月 日 生

年　月　日　任左近衛將曹

年　月　日　死

朝利　朝武男

年預御鷹飼八鳴内府烈番長後九條殿下烈

年　月　日　生

年　月　日　死

武長　朝利男

年　月　日　生

年　月　日　補　番長

年　月　日　死

武頼　武長男

御鷹飼九條内府大將時小御随身右府兵伏時右番長

年　月　日　生

武実忠　武子

年　月　日　死

武行　武頼男

左馬允一條大將兵杖之時小御随身

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

年　月　日　生
年　月　日　補左近衛府生
年　月　日　死
武奥　武行男
年　月　日　生
年　月　日　補左番長
年　月　日　死
敦剛　武奥男

年　月　日　生
年　月　日　補左近衛府生
年　月　日　兼任上総介
年　月　日　叙従五位下
年　月　日　卒
敦武　敦剛男
年　預御鷹飼
年　月　日　生

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

年　月　日　補右番長

年　月　日　死

武宗　敦武男

年　月　日　生

年　月　日　叙従五位下

年　月　日　任主計頭

年　月　日　卒

敦吉　武宗男　貴敦武孫

年　月　日　生

年　月　日　補左番長

年　月　日　任右近衛将監

年　月　日　叙従五位下

年　月　日　卒

敦祐　敦吉男

年　月　日　生

年　月　日　補左官人

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

年 年 年 年 年 年 年 年 年 年

月 月 月 月 月 月 月 月 月 月

日 日 日 日 日 日 日 日 日 日

敦

任尤近衛將曹

叙従五位下

卒

宗 敦祐男

生

任尤近衛將監

叙従五位下

卒

年 年 年 年 年 年 年 年 年 年

月 月 月 月 月 月 月 月 月 月

日 日 日 日 日 日 日 日 日 日

敦

任右近衛將曹

叙正六位上

死

武 敦成男

生

任右近衛將監

敦成 敦宗男

生

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

年　月　日　叙従五位下

年　月　日　卒

武光 武澄男 貴武永男

年　月　日　生

年　月　日　任右京進

慶長九年正月十一日　叙従五位下

慶安四年八月十三日　卒

自敦貴到武光九六世慶安四年以降家名中絶之処明和八年

九月十五日於九條殿奉御再興之命

敦光 九近衛將監尊和泉守 下乞野武音二男

寶暦九年五月廿六日　生

明和八年九月廿八日　叙従六位下十三歳

同　日　補右近衛府生

同年十二月五日　遷任九近衛將曹

安永三年五月廿四日　候青綺門院北面

同四年十月十八日　補院御随身

同　七年　六月一日
元明五年　九月十五日
同　　日
同　七年　十一月四日
寛政二年　三月九六日
同　四年　十二月十九日
文化六年　正月九五日
文政二年　九月十七日

叙従六位上　二十歳
叙正六位下　八七歳
轉任左近衛将監
還補本府
退散依前御也
叙正六位上　廿四歳
叙従五位下　五十一歳
卒　六十一歳

寛政六年　二月五日
文化四年　四月九五日
同　　日
同　五年　正月九八日
同　十一年　四月九八日
同　十四年　三月一日
同　年同月　九三日

敦寅　敦光男
生
叙従六位下　十四歳
補右近衛府生
轉任右近衛将曹
叙従六位上　二十一歳
被附于
中宮御所
後院侍御厨子

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

同年五月七日
文政四年四月廿六日
同　日
同年八月四日
同十一年十二月十八日
天保六年十二月十八日
同十二年九月廿二日
弘化二年六月六日

補院御隨身
叙正六位下二十八歳
轉任九近衛將監
還補本府
叙從五位下三十五歳
叙從五位上四十二歳
為女院北面依去年院御事也
卒五十二歳

文政三年八月三日
天保八年三月廿二日
同　日
同年十二月三十日
同　日
同十二年九月廿二日
同十五年十月廿八日

敦
邦敦寅男
生
叙從六位下十八歳
補右近衛府生
候院北面
被附于大宮御所
為女院北面依去年院御事也
叙從六位上廿五歳

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

同　日　遷任左近衛將曹

弘化四年五月廿三日　停北面 依女院御事也

同　日　称 前新清和院侍

天保六年十二月廿三日　敦風 敦邦男

生

弘化四年七月九日　叙從六位下 十三歳

同　日　為右近衛府生

嘉永七年五月九日　辞官返上位記

敦榮 敦邦養子

弘化四年二月七日　生

嘉永七年十月十四日　叙從六位下 八歳

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

同

日

為右近衛府生

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

近衛府

中川家傳

左近衛番長源憲直

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

安永七年五月十七日
寛政六年二月廿四日
天保五年四月廿九日
同日
同十二年十二月廿二日
弘化三年八月廿七日

源意看 三宅左近將曹兼安房守 源意憘男

生
補左近衛番長 十七歳
叙従六位下 五十七歳
補左近衛府生
叙従六位上 六十四歳
死
春看 意看男

寛政十二年五月十日
文化十一年十月十六日
天保五年四月廿三日
文政三年十月廿八日
天保五年四月廿五日

生
補左近衛番長 十五歳
左近衛番長被召放
意直 意看男
生
補左近衛番長 十五歳

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

寛政十二年五月十日　生
文化十一年十月十二日　補左近衛番長　十五歳
天保五年四月廿三日　左近衛番長被召成
同日　意直　意看男
文政二年十月廿八日　出
天保五年四月廿五日　補左近衛番長　十五歳

近衛府
西尾家傳

右近衛番長源謙通

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

寛政五年六月朔日　源元衡　土山右近衛将曹源武理実方従父弟実医師西尾法橋玄叔次男

文化六年三月十三日　生通　元衡養子実兄西尾昌攸男

天保五年四月廿六日　補右近衛番長　十七歳

文化六年八月廿七日　死　日十二歳

天保五年四月廿五日　補右近衛番長　二十六歳

謙通

弘化元年十二月廿二日　改補典藥寮醫師

826
371
91

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

禁裏御所御用日記

ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91